



## 『緑の環境クラブ』と共に歩んで

緑の環境クラブ 代表世話人 北田 香菜子

生まれ育った神戸の街から、自然豊かな三田市に転居してきたのは、1994年であった。その頃の私は、家業の手伝いと家事と子育てで忙しくする主婦であった。しかし、そんな主婦の生活が一変する出来事が起こってしまう。それは、公害問題であった。これについて書くスペースは今回ないので、省略するが、このことがきっかけで、私は、環境問題に関心を持つようになり、近くの関西学院大学総合政策学部の聴講や人と自然の博物館の先生方を講師に迎えて開催される三田市の研修会に参加するなど学習を重ねていった。また同時に、三田市が公募をしていた広聴会制度の『三田市民会議』に応募し、『地域づくり部門』に入り、三田の持っている課題やよりよいまちにしていくなために何が必要かを話し合う前向きな気持ちを持った市民と活発な議論に参加した。このときの会議員たちとの出会いが『緑の環境クラブ』誕生の重要なターニングポイントとなる。

話し合っていくうちに、意見を言うことも大切だが、大切だと思うことを実行に移すことも肝要なことではないか、という気持ちが私たち会議員の中に生まれてきた。そして、そのことが『緑の環境クラブ』が生まれる原動力となった。

当時三田の里山は、ある意味、危機に瀕していた。開発のブームに乗って、郡部の里山のふもとを買い、無計画に住宅を建て、水道も来ないところに、井戸を掘り、すぐに水道は通りますよ、と偽り、売だけ売ったら計画倒産するという悪徳不動産業者の横行が報道されており、私たちは危機感を抱いた。せっかく自然豊かな里山の美しい三田にきたのに、それをどんどん潰されては大変だ、子孫に豊かな自然を遺すために、何かできないかと、考えるようになった。そして同時に私の心には、公共の開発計画とはいえ、この自然の山々を潰して、住宅が建ち、そこに自分たちが住んでいるのだという忸怩たる思いが芽生え、贖罪の

意識も働いたように思う。

『そうだ、私たちにはお金はないが、労力はある。里山の手入れにまで手が回らない里のみなさんのお手伝いならできないのではないか。その活動をするので、豊かな自然の大切さを、行政や市民全体に訴えることができるのではないか』という合意形成をして始まったのが、『緑の環境クラブ』であった。まず里山に関する研修を受け、里山の整備をしながら、酸性雨の調査や植物観察会、小学校、中学校の総合学習への協力、高校や大学のゼミなどへの里山体験活動の提供や里山の手入れで出た木の枝や蔓を使った工作イベントの開催などさまざまなボランティア活動を行いながらの日々であったが、設立して早くも20年の月日が経った。この20年の間に、私たちクラブ員の個々の生活も少なからず変化してきたが、地球の自然環境は大きく変わってきたようだ。おそらく原因は私たち人間の営みにあると思われるが、その私たち人間の力ではどうしようもない自然の猛威に曝されることが多くなったように思う。

昨年10月22日に襲来した大雨を伴う台風は、日ごろ活動している三田市有馬富士森林公園にも多大な影響を与えた。ここしばらくは、台風で荒れた山を整備することに労力を費やすことになると思うが、園内を散策する人たちが、気持ちがいいと喜んでくれることを楽しみにしながら、自然界のバランスを乱さないように留意しつつ、これからも仲間とボランティア活動に励んでゆきたい。



作業前の集合写真

# ひょうご森のまつり2017

1956年から毎年開かれており、今回で61回目となる「ひょうご森のまつり」。今年は多可町で開催されました。天候にも恵まれて、家族連れなど大勢の地元住民含めた8千名の参加者で賑わいました。

当兵庫県森林ボランティア連絡協議会も協力団体として名を連ねており、8団体30名の応援参加のもとテントブース出展致しました。従来のように各ボランティア団体の紹介パネルやのぼり旗を会場入口に設置し、参加者に我々の活動を紹介するだけではなく、初めての試みとして参加3団体の間伐材利用のワークショップや木工細工販売なども行いました。お陰さまで当協議会ブースも大賑わいでした。式典では桑田会長による森林ボランティア団体の活動報告なども行われました。



活動報告



里山林整備体験



名札づくり

日時 2017年11月5日(日) 10:00 ~ 15:30  
場所 多可町中央公園周辺  
テーマ 「活かそう資源 育てよう未来の森」  
主催 兵庫県・多可町・(公社)兵庫県緑化推進協会  
併催 多可町ふるさと産業展「多可の食・技・元気が大集合」  
主な内容(当協議会関係)

- 知事、多可町長挨拶のあとの各表彰ののち、当協議会会員がのぼり旗を持って登壇する中、桑田会長が森林ボランティア活動についての報告を行いました。
- 地元の中高校生対象にした里山林整備体験を開催しました。(於：多可町余暇村公園)
- 当協議会ブースにおいて会員団体の紹介パネルなどの展示による活動PR及び間伐材を活用しての手軽な名札づくりなどワークショップも開設し、沢山の方々に立ち寄って貰いました。

## ひょうご森の日イベント

平成17年10月に全国育樹祭が兵庫県で開催されたことを契機に、毎年10月の最終日曜日を「ひょうご森の日」と定めています。「森の日」を中心とした県下各地の森のイベントを通じ、森の良さや森林整備の重要性を多くの人に発信し、森づくりへの参画を促すことを目的に、各団体が多様な催しを開催しました。ただ、今年は台風のため、多くの行事が中止となりました。

「紫微嶺里山楽しむ会」では、シブレ里山感謝祭と銘打って開催し総勢28名の参加を得ました。障がいもつ子ども達と『健常者も障がいもつ人も一緒に楽しめる森づくり』のための車イス道をスコップ、バチヅルを使って予定の1/10を整備。女子陣は森の手づくり体験として自生する樹木の葉っぱからアロマ水抽出、ニホンミツバチ蜂蜜採蜜後の巣を再利用してミツロウクリーム作り。昼飯はメンバーの猟師さん手作りジビエカレー、シカチリ7、きらずサラダ、かまど焼きご飯などに舌鼓。薪割り、木の楽器作りなども楽しみました。



「太市の郷」では、10月に予定した「親竹更新のための選別伐竹」が雨で延期。11月26日に「タケノコ栽培のための土入れ」を行いました。この日は地区の旅行会と重なり、参加8名と少数ながら顔触れは初期から活動のベテラン揃いで手慣作業。加えて、桑田会長も来郷いただき大いに捗りました。休息時にぜんざいタイムもあり、歓談に華が咲きました♪当地は県内屈指のタケノコ産出地。しかし持続困難な課題が山積し、放任竹藪が増え里地の疲弊感を漂わせています。美しい竹林景をまもり、次世代へ繋ぎたい！有志が集い、里山保全しています。





# ひょうご森づくり活動賞

森づくり活動を通じて、森林・里山整備及び地域住民との交流や人材育成を推進し、緑豊かで住みよい県土づくり、「県民総参加の森づくり」に貢献した優れた団体に対し「ひょうご森づくり活動賞」を贈呈することにより、広く県民の森づくりへの参加意識の高揚を図り、さらに市民活動の輪を広げると共に地域住民、企業、行政等との活動を促進することを目的とし、平成23年9月から施行されている賞です。

平成29年度は次の2団体が受賞されました。

## 神吉町内会 ふれあい里山会（加古川市） 会長 山脇 徹

当会は、町内会が所有する通称「神吉山」の里山整備を通して、住民が気軽に利用できるふれあいの場を創出し、町内住民の生活文化の向上等を目的として平成21年度に結成し、活動してきました。神吉山は、尾根伝いに5つの古墳が点在しているほか、討ち死にした神吉城主と一族の供養のために建立された西国33霊場の菩薩像、日露戦争での戦没者の供養塔があり、霊山ともいえ、地域住民が愛してきた山です。また、加古川市の健康づくりの拠点施設である「ウェルネスパーク」に隣接しています。



この様な特性を活かし、県、市のご支援並びに東播工業高等学校、東神吉小学校の生徒の協力も得ながら整備を進めてきました。間伐整備や炭焼きのほか、つつじ・あじさいの植栽、急斜面に階段を整備してきました。現在では、ハイキングコースとしての利用者も多くみられ、イベントも開催されています。

今後も地域住民に愛される山となるように会員一同微力ながら歩んでいきたいと思ひます。

## 赤穂森の倶楽部（赤穂市） 会長 岩本好司

赤穂森の倶楽部は平成9年4月に発足し20年が経過しました。設立から数年は赤穂ふれあいの森での草刈りや樹名板の設置、赤穂市内及び西播磨での植樹作業に参加しました。

平成10年11月から赤穂市西有年（自治会所有林）を拠点に活動しています。ここはひょうご森の倶楽部の活動地の一つで自治会の人々と共同作業を行っています。主にヒノキの人工林の手入れ（枝打ち・間伐）、他に遊歩道の整備やヤブツバキ・クロマツの植樹、山小屋の設置、自然観察会などの活動を実施してきました。



竹の切り出し作業

また、毎年恒例の赤穂御崎のサクラの蔓伐りや周辺の掃除、一昨年からは赤穂義士祭を盛り上げるため「竹灯り」イベントの竹の伐り出しや穴明け作業にも参加しています。これからも会員一同（22名）が共同作業を通じ森林の大切さを共有し、地元の人たちやひょうご森の倶楽部会員と共に相互の交流を深めていきたいと思ひます。

森づくりに貢献のあった団体が次の賞を受賞されました。（敬称略）

環境大臣表彰：神付・産土の森の会

県功労者表彰：北田香菜子（緑の環境クラブ）、小畑和之（上山高原EJコミュニティ）、大門宏（菊炭友の会）

緑化功労者表彰：西澤孟治（溪のサクラを守る会）

環境保全功労者知事表彰：丹波おおやま里山オーナー会

全国育樹活動コンクール 国土緑化推進機構理事長賞：コミュニティひばり環境部会

ふれあいの森林づくり 国土緑化推進機構理事長賞：NPO 法人ひょうご森の倶楽部 行常チーム

（行常しあわせの森づくり協議会との連名受賞）

みどりの愛護功労者 国土交通大臣表彰：フォレスター松寿

## 平成29年度の活動

- 1 総会・交流会・会報等による会員情報の交換・提供
- 2 会員間の積極的な交流・活動支援
- 3 兵庫県緑化推進協会の事業への積極的な協力
- 4 ひょうご森のまつり 2017 への参画 (2 P 参照)
- 5 ひょうご森の日地域イベントの開催支援、広報 (2 P 参照)
- 6 メールを活用した情報提供・共有
- 7 のぼり、ベストを活用した森林ボランティア活動の普及啓発
- 8 少花粉スギの育成 (右写真参照)
- 9 ホームページ上での本協議会の紹介及び会員ホームページへのリンク



少花粉スギ(こうべ森の学校活動地内)

### 会員の動き

退会 H29.3 花実会 (三田市)

入会 H29.1 虹技森林ボランティア (姫路市)  
H29.4 平松区森林愛好会 (丹波市)  
      ブイブイの森クラブ (三田市)  
      神鋼かこがわ森の会 (加古川市)  
      大山上生産森林組合 (篠山市)  
      NPO 法人里野山家 (三田市)



### 「緑の募金」にご協力ください!

公益社団法人兵庫県緑化推進協会

森や緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、「緑の募金」として家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金を県下各地で行っています。

<http://www.hyogo-green.net/>

なお、兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会からの平成 29 年度の募金額は¥40,359- (H29.11 末現在) でした。

### ハンターに注意!

#### ◆平成 29 年度の狩猟期間

11 月 15 日(水)～2 月 15 日(木)までが狩猟期間です。ただし、ニホンジカとイノシシは、3 月 15 日(木)まで。

#### ◆狩猟事故防止のために

入山する際は、迷彩服などを避け、できるだけ目立つ服装を心がけましょう。また、白いタオルは、シカの尾と間違えられやすいので、注意しましょう。

お互いの存在が確認できるよう、複数人で話をしながら入山するよう心がけましょう。また、単独での入山の場合は、音の鳴るもの(鈴、ラジオ等)を携帯しましょう。

クマは、ペンキなど臭いの強いものを好むので、身につけないようにしましょう。

土曜、日曜日及び祝日は狩猟者が大勢入山しますので、特に注意しましょう。

地面に仕掛けられたワイヤーロープの「くくりわな」は、非常に危険ですので、わな設置の看板(標識)がある所には近づかないようにしましょう。

### 事務局 兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号  
兵庫県農政環境部環境創造局豊かな森づくり課内  
TEL 078-362-3613 Fax 078-362-3954  
会報に関する問い合わせ: 桑田 結 (TEL090-3166-9785)

#### 郵便振込

手数料が不要になる専用の払込取扱票用紙をお送りしますので、(公社)兵庫県緑化推進協会へ直接お問い合わせください。

#### 銀行振込

口座: 三井住友銀行兵庫県庁出張所  
普通 3198438 (振込手数料が必要)  
名義: 公益社団法人 兵庫県緑化推進協会  
問合せ: TEL 078(341)4070 FAX 078(341)4071

### 事務局からのお願い

■当協議会の活動は構成団体のご協力と年会費千円にて運営しています。未納なきよう、よろしく申し上げます。

■メールで助成金などの情報提供をしています。未登録の団体で、希望される場合は以下のメールアドレスまでご連絡ください。

(担当: 豊かな森づくり課 樋口)

yutakanamorizukuri@pref.hyogo.lg.jp

